

# いっぱん質問



4月に市長選挙が予定されていたため、今定例会の条例・予算等は必要最小限の提案となっています。議会としては、市長選挙後の新市長に詳細な質問を行うこととし、今定例会で問わなければならない事項のみ一般質問を行いました。

P.11



● ライフラインの補助金はカットすべきでない

畠中 博文 議員

紙面の都合により、いっぱん質問の内容を680字以内でまとめています。

質問全体の内容については、会議録に掲載しています。会議録は、議会事務局、各支所、市内図書館および嘉麻市議会ホームページからご覧いただけます。

なお、一般質問はケーブルテレビのご協力により、生放送と録画放送を行っています。また、YouTubeによる生中継と録画配信も行っています。

スマートフォンやタブレット端末で、録画映像をご覧になりたい議員のQRコードを読み取ると、「嘉麻市議会」のYouTubeサイト内へアクセスできます。ぜひご視聴ください。



# 一般質問とは？

一般質問とは、議員が市長に対し、市が行う仕事について質問することです。議員は、市が行う政策（地域環境や産業、子育て支援、福祉、教育など）の取り組み内容や、問題点に関し、幅広く質問することができます。これに対し、市は今後の事業の進め方や問題解決のための考え方を答えます。このやり取りは市民の代表である議員が市の考え方をチェックし、市民の思いを市民サービスに反映させるという大きな役割を果たしています。どの議員がいつ、どのようなことを質問するのかは、事前にホームページで確認できます。

皆さんの身近な生活に関することや興味関心があることについての一般質問もあると思いますので、チェックして議会傍聴してみてください。

## 畠中 博文 議員



**問** 家庭用飲用井戸等整備補助金カットの理由は

**答** 公平性の観点から見直す

**質** 家庭用飲用井戸等整備事業補助金とは。  
**課長** 給水区域外において居住に必要な飲用水等の給水施設を設置する個人又は団体に補助することを目的としたものだ。  
**質** いつから実施されているのか。  
**課長** 令和2年4月から実施されている。

**質** 補助対象経費と具体的な補助金額は。  
**課長** ボーリング工事費、取水管工事費、ポンプ設置工事費、屋内配管を除く給水管工事費等の8項目だ。補助金額は、補助対象経費の2分の1以内の額で、一世帯当たり20万円を限度としている。昨年の予算は120万円と追加予算40万円を合わせて160万円だ。  
**質** なぜ、令和8年度の予算に計上しなかったのか。  
**副市長** 水道水が確保できない地域の方を対象に実施してきたが、単

純なポンプの交換も補助する制度となつていくことから、制度の見直し等を含め、他の自治体の実施状況や制度等を確認し、再度検討する必要があると判断し見送つた。  
**質** 公平性の観点からきちっと見直しをはかり、6月までに検討したい。  
**質** 令和2年には水道料金の基本料を11ヶ月間免除し、約8千万円予算を使っている。水道を使

っていない市民は何の恩恵もなかった。これこそが公平とは言えない施策と思うが。  
**副市長** 政策的な判断と考えた上で実施されたいと思う。  
**質** 合併特例債約220億円。この事業計画の中で上水道普及促進事業が計画されていたが、20年間で上水道の配管等の延長工事は行ったのか。  
**課長** 給水区域の拡張は行っていない。

**質** 6月議会で家庭用飲用井戸等整備事業補助金の計上の考えは。  
**副市長** 制度を再検討して、新市長にも確認しながら考えたい。

